

県連ニュース

2018年 5月号 NO-490



滋賀県勤労者山岳連盟

目 次

寄稿	リレーエッセイ	2
案内	第46回 清掃登山	3
	京都府連 合同搬出訓練	4
報告	第2回 理事会議事録	5
	近畿ブロック自然保護委員会	8
	第39回近畿ブロック搬出技術講習会	9
	雪山基礎講座2 (第4回)報告書	11
	山である日—春の双耳峰—	14
	『県連HPへの問い合わせ』	15
新任理事の横顔		17
ぐうたら理事長のつぶやき		19
予 定 表		20

表紙の写真：『竜ヶ岳』2017/05/23 撮影

滋賀山友会所属 北村光雄さん提供

《たまに思い出す事》

滋賀山友会 秋元 喜弘

時々、「山を始めた頃の事」を思い出す時があります。私が 20 歳前後の時、当時の趣味はオートバイでした。近くへはもちろん、連休の時には、よく長野県までツーリングに出かけていました。2 代目のバイクはオフロードバイク、長野県や岐阜県、静岡県の方へテントを積んで、夜はキャンプ。行きたい所に行き、泊まりたい時に寝床を探し、その自由さがたまらなく面白かった気がします。

何回もそんな自由なツーリングをしている中で、ヘルメットのバイザー越しに見る山並みに気が行くようになってきました。きれいな山並みを見ていると、「あの稜線を歩いたら気持ちがいいだろうなあ」と思い始めました。

人間興味を持ったら早いもので、連休でもバイクには乗らずに山に出かける様になりました。三上山に一回登っただけですぐに富山県の剣岳に登りました。走るように登って行き、カニのタテバイも怖かった記憶はありません。同じ様な年ごろの兵庫県からの青年と、競うように登った記憶があります。そして山頂に立った時の爽快感や達成感などの様々な感情、そして下山してからのこの山を征服したという征服感は一瞬もなく心に刻まれました。

ほとんど知識や技術もないまま登ったのは若さ故といったところですが、普通に夏山を登るのは何となく出来る気がして、今度は雪山に登るにはどうするのか？と思い始めました。さすがに夏山の稜線歩きのように道標に導かれて行くのは難しいだろうから、天気読みや地図読み、その他の登山技術を教えてほしいとなり、「山と溪谷」に会員募集していた山友会に入りました。

入会してからは、雪山はもちろん、岩登りや沢登りも教えてもらい、どんどん山にのめり込んでいきました。また趣味でつながった年齢を超えた方々と、テントで楽しく過ごしていた事などを思い出します。

山を始めた頃と今とでは年齢も環境もまるで違うのですが、時折思う「山を始めた頃の事」はこれからも思い出すでしょうし、初めに楽しい思いをしているから山はこれからも登って行くのだと思います。

湖国の豊かな自然を次の世代に！あなたもできる自然保護！

第46回
2018年

クリーンハイク

(清掃登山)

6月 3日 (日) 小雨決行
ただし、竜ヶ岳 は、

5月27日 (日) 小雨決行
飯道山 は、

6月 2日 (土) 小雨決行



実施会場 8 山域 11 コースを予定

- 1) 鈴鹿 2) 信楽 3) 伊吹 4) 金勝アルプス 5) 比良
6) 三上山 7) 竜王 8) マキノ

日程	会場	コース (担当会)
5/27 (日)	鈴鹿	竜ヶ岳 (山友会)
6/2 (土)	信楽	飯道山 (綾野山歩会)
6/3 (日)	伊吹	伊吹山 (山友会)
	金勝アルプス	天狗岩 (山友会)
	鈴鹿	高室山 (岳友会)
	比良	正面谷・隠れ滝 (ちごゆり)、 小女郎ヶ池・蓬莱山、クロトノハゲ・打見山 (雪稜会)
	三上山	三上山 (びわこテクテククラブ)
	竜王	雪野山 (彷徨倶楽部)
	マキノ	寒風山 (シャクナゲ)

申込先及びコース詳細は清掃登山ちらし (4月下旬に各会に配布予定) を参照してください。

2018年度 京都府連盟 無雪期搬出訓練のご案内

※京都府連盟からの呼びかけです。多数の方に参加していただきたいと思います。

搬出はロープを使わない散策道でのネットの搬出と急斜面の山道でロープを使って背負いやネットの搬出を救助隊事務局で計画しています。

また、本年度から初めて滋賀県連にも参加を呼びかけています

1. 実施日 2018年6月24日(日)雨天決行

2. スケジュール

8時30分 受付開始 天頑山(テンガンザン)取り付き(JR 高島駅から北西に900m)

9時00分 開始挨拶

9時15分 応急手当訓練

11時00分 昼食

11時30分 2コースに分かれ搬出訓練開始

15時00分 救助隊デモ(予定)

15時30分 反省会 16時00分 解散

3. 訓練場所と参加条件

応急手当 天頑山取り付き付近

搬出法

・天頑山班コース(ロープ不使用、ネット搬送)——参加条件なし

天頑山(テンガンザン)付近の散策道で登り降り搬送

・鉄塔班コース(ロープ使用。ネットと背負い搬送)——岩登り経験者のみ

見張り山への登山道で登り降り搬送

4. 持ち物

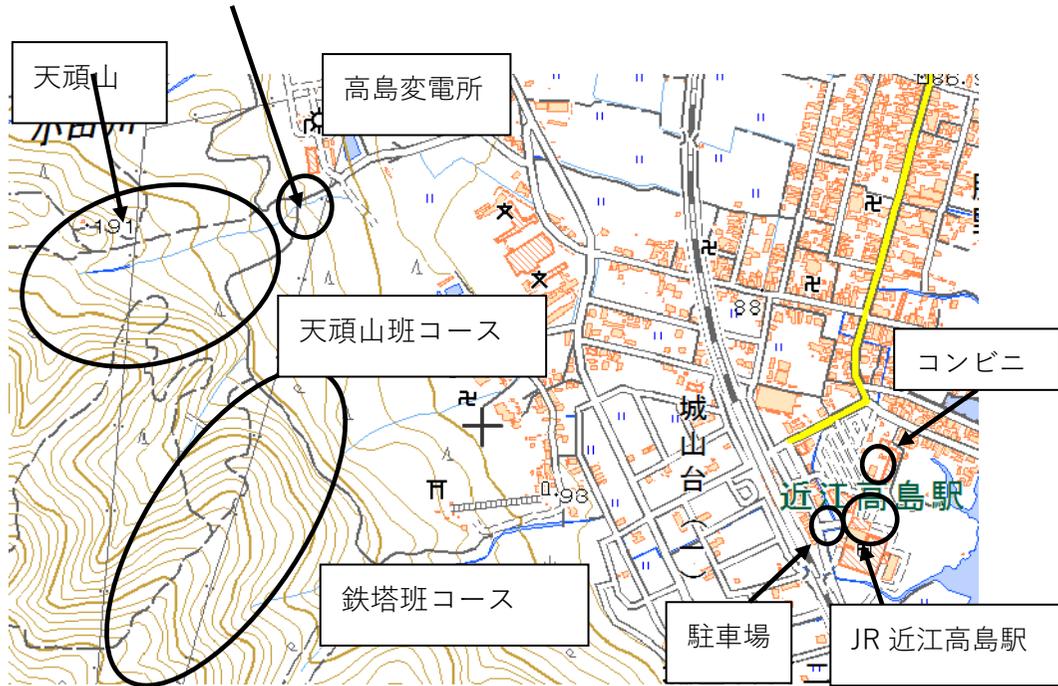
応急手当 一般日帰装備一式と筆記具

搬出法 天頑山班コース:一般日帰装備一式(ヘルメットは任意)

鉄塔班コース :一般日帰装備と登攀装備一式

- 参加していただける方は6月10日までに友永まで連絡してください。
- 電話番号 077-524-5618 メール yt19481013@yahoo.co.jp です。
- 受付場所手前に車は止められますが路上駐車となります。地元迷惑を掛けないように極力JRを使って下さい。

天頑山取り付き 受付、集会、応急手当場所 JR 近江高島駅から 900m



JR 京都駅—近江高島駅 7:00 発—7:50 着 又は 7:24 分発—8:20 分着

駅の北東にコンビニ、駅の西側に駐車場があります。

2018年度 第2回 理事会報告

2018.4.5(木) 19:00~20:30 於:県連事務所

司会:友永

出席:秋田、北村、友永、中島、池田、東郷、今村、川端、三崎、古川、番浦、濱、奥野(記録)

(理事会定数 15名)

欠席:(連絡あり)宮内、高玉

議題

★出席者の自己紹介に始まり、下記の議題について協議・決定し、報告がありました。

1.自己紹介

2. 専門部分担案について協議後、下記の通り決定 *印 責任者

- ・組織部(* 池田、川端)・自然保護部(* 中島、古川)・財政部(* 宮内、三崎)
- 教育部(* 番浦、瀨)・機関紙部(* 奥野、東郷、高玉)・遭難対策部(* 今村、友永)
- SKI-NET(瀨)・CSS(北村)・救助隊(秋田)

3. 三人行事主担当案について協議

- ・清掃登山:友永、北村、自然保護部
- ・比良縦走大会:遭難対策部、教育部
- ・登山祭典:組織部

4. 清掃登山について協議

- ・コース、責任者(受付窓口)確定は終了。

本理事会開催時まで、北村副会長により諸準備手配は終了。その他チラシ印刷・配布作業及び菜、リーダー手引き等も併せ、写真・報告書作成を集約し、県連としての報告書を自治体毎に提出する作業を自然保護部担当理事2名にて協力して行い、清掃登山当日は各理事の応援態勢で臨むことに決定しました。

・参加者の交通費補助について従来通りの対応でよいのかとの意見が出ている。今後の理事会で検討し、内訳について説明できるよう整理しておく。

自治体関係の補助金は従来通りで、好日山荘京都店の広告掲載は受理して頂きました。

5. 年間活動予定について説明

- ・事務局長より別紙資料配布に基づき詳細説明があり、各出席理事確認しました。
- ・今期の理事会日程については、当初水曜日に都合があり出席できない理事がいるので、都度理事会終了時に次回開催日を決めることとしていましたが、基本的に第二木曜日開催とし、5月のみ第三木曜日の17日に開催します。

6. 木曾駒ヶ岳の事故について概容報告 ※雪山基礎講座 2(3/23~25)中央ア 上松Aコース~木曾駒ヶ岳往復

・雪山基礎講座 2において講師より事故の概容報告がありました。4/3の反省会で今後の対応策を検討分析し、その後集約して4月10日頃をめどに事故報告書を纏める予定。

7.各部報告

組織部: 会員拡大取り組みのタスクチームに関する計画書を次回理事会で提出予定。

※ 前月末の会員数(2018・3E/2018. 2E) 前年度末比 211/214 98.6%

山友会 80/80	岳友会 52/53	雪稜会 45/45	彷徨/15
ちごゆり 16/16	シャクナゲ 5/5	合計 211/214 (98.6%)	

遭難対策部:

- ・6月24日見張山にて搬出訓練を京都府連が行う。滋賀も参加する。

自然保護部

- ・4/6 近畿ブロック自然保護委員会に中島理事出席予定。
- ・3/29 東近江市役所～携帯基地局工事現場付近で何か埋められていて、陥没の恐れがあるため情報提供をした。
- ・3/20 にリニア新幹線署名270名分を提出・リニア新幹線反対署名については前回の理事会以降、35筆増えて全体で257筆になった。目標の500筆に向けて進めていく。

機関紙部: 県連ニュース5月号(490号)

- ・原稿締め切り 4/15、印刷・発送 4/20 別途、案内・報告原稿の要請。

救助隊:

- ・近ブロ搬出講習会リハーサル 3/24 2名
- ・近ブロ搬出講習会 4/1 滋賀県連からは参加者 岩 1名 ハイキング 12名
- ・事務局会議 3/14 参加者 3名 安全登山講習会は今後も計画していく。

教育部: ・地図読山行計画案を次回理事会に提出

SKI-NET: ・4/14・15 野沢温泉

CSS: ・4/3 反省会と事故概容報告のまとめ ・4/7 金毘羅山岩訓練予定

8.その他全国・近畿ブロック行事関係について下記の通り報告

- ・4/18 近畿ブロック会議 19時～大阪府連事務所(放射線測定器の使用頻度を確認)
- ・6/23～24 全国女性担当者会議 全国連盟事務所
- ・6/30～7/1 全国遭難対策担当者会議 全国連盟事務所
- ・8/10～11 「山の日」全国大会 鳥取県大山町

県連としての取り組みについては、現時点では具体案が出ていないので次回理事会で検討

- ・9/15～16 全国ハイキング交流集会 静岡県伊豆 長岡温泉

■ 次回第3回理事会 5月17日(木)19:00～

司会 大阪 澤村

報告 中島英雄

1. 各府県連報告(トピックス)

和歌山: 県連総会が3月4日(日)に開催され、一般登山愛好者の参加、普及に努める。人材育成を行なう。クリーンハイク(清掃登山)をさらに広める等を決めました。

和歌山市紀の川流域に太陽光発電計画、巨大な産廃処分場が建設計画等の報告(大住)
京都: 麻田氏は議員に当選したので常任を交代しました。(部員としては残る)

1. クリーンハイク 50回のまとめ(A4用紙2ページと表3ページ)を受領。
2. 第53期(2018年度)活動方針では クリーンハイク、八丁平の定期調査、自然保護セミナーと観察会、土壌調査・NO₂調査、自然保護委員会(毎月第一月曜日)。
3. リニア新幹線凍結、見直し署名 553筆(4/1現在)。
4. その他 近畿ブロック交流ハイキングの残金を和歌山県連へ引継ぎ(平尾)

奈良: 3月4日(日)に定期総会を開きました。クリーンハイクは自然保護委員会で取り組みます。ナラ枯れ対策で樹木に巻いているポリプロが劣化し、剥がれているのを鹿が食べている状況を報告。(高橋)

兵庫: 4月度 自然保護委員会会議まとめ及び2018年度自然保護委員会行事予定表の資料を受領。4/7 東お多福山草原保全活動、4/8 県連統一クリーンハイクについて報告。(中原)

滋賀: 3月11日(日)定期総会が開催され、自然保護部の今年の計画と2017年度の放射線量測定結果のまとめを報告。リニア署名では268筆を全国連盟に送ったこと。昨年10月の風水害の状況調査を行った範囲で報告しました。放射線量測定器は一旦次回に返却することになりました。担当は、私と新しく古川が当たることを発表。近ブロ会議を土曜日にして欲しい旨要望しましたが、叶いませんでした。(中島)

大阪: 今年初めての雷鳥目撃情報では3月18日 OWCCの中川さんが五竜岳で目撃、激写に成功。クリーンハイクの準備を開始しました。山城一担当表によると25の山城で、24の会がそれぞれ担当されます。里山一斉調査では4月1日、7日、8日に4つのコースを設定しています。リニア署名は800筆を越えました。(澤村)

2. 近畿ブロック交流ハイキング

11月3日(土)か4日(日)で日帰り、高野山ケーブル乗場9:30集合、コースは奥の院~高野三山の一つで実施することとなりました。担当和歌山、協力大阪

3. リニア中央新幹線署名

6月9日、10日 大井川・樺島調査登山 主催: 全国連盟

4. クリーンハイク

5. 次回近畿ブロック自然保護委員会の開催は 7月6日(金) 10:00~

第 39 回近畿ブロック 搬出技術講習会報告

4月1日にハイキングは尼崎、岩は百丈岩で実施されました。まだ確定していませんが、ハイキングには176名、岩には109名の合計285名(スタッフ含む)が参加されました。

滋賀県は岩に滋賀山友会から1名、ハイキングには滋賀山友会4名、湖南岳友会3名、比良雪稜会5名の方が参加されました。

今後参加された皆さんが各会で簡単な講習会を開いていただければ嬉しく思います。都合がつけば私も参加したいと思います。

私が報告するよりも、皆さんの感想をご覧になるほうが良いでしょう。

ハイキング搬出講習会感想

◆北村 光雄(滋賀山友会)

山の中で誰かが怪我をしたり、動けなくなったら、どうしたらいいのだろうか？と、いつも不安を感じながら山行をしていました。でも、今回の講習会に参加して、いくつかの方法がわかりました。また、そのために必要な物を、常に携行する事も大切だとわかりました。特に、三角巾は全員が持つようにしたほうが良いと思いました。色々と今後の山行に役立つことを学べて有意義な一日でした。

◆沼 裕(滋賀山友会)

事故発生時の搬出で、運ばれる側を体験できたことで、いざ、搬出の場面に遭遇した時、どのような事に注意すべきか、いづらか理解できたと思います。特にザックに背負われての下りの階段では、とても怖く感じられましたので、とても良い搬出方法ではあると思いますが、けが人への細心の注意を払う必要があると思いました。

◆小林 智子(比良雪稜会)

何気なく参加していた防災訓練がとても役に立った経験があり、何かの訓練には、機会があれば積極的に参加しています。ハイキング講座では、毎回、大変さにおののき、横着な自分なりに「怪我をしないように」と肝に銘じる機会ともなっています。今年は北村さんの班で中身を出さずにザック担架を作り搬出体験をしました。ザックを空にしなくてもいいという体験が新鮮でした。

◆其阿弥 道子(比良雪稜会)

2回目の参加でした。前回と同じような内容でしたが、支部の新しい試みや工夫もあり、勉強になりました。実習する機会を与えていただき大変ありがたいです。

◆田中 啓子(比良雪稜会)

搬出技術講習会は昨年に続き2回目の参加でした。昨年学んだ事を復習し、改めて基礎知識の重要さを感じ、事故のない山行を心掛けたいと思いました。

◆堀池 差英子(比良雪稜会)

昨年に続き2回目の参加でした。

実技をしている間に去年もやったなとポチポチ思い出してくるというあり様でした。少なくとも、年に一度はこういう講習会が要るなと思いました。

県連単位か、各会単位か、小規模でもできないかと思っています。

◆渡壁 由美子(湖南岳友会)

初めてのこのような、登山の技術講習。久しぶりの緊張感、楽しかったです。

担当者の方々の準備から実施と、ご苦労に本当に感謝です。質疑応答の時間に余裕があれば、日ごろの疑問が解決できたかとも思う。

是非この貴重な講習会で学んだ事を、湖南岳友会でメンバーに伝えて、より安全で楽しい山行へとつなげていきたい。

◆奥のぶ子(湖南岳友会)

湖南岳友会に入会して5年あまり。リーダーやメンバーのお陰で搬出の必要な場面はまだ経験していませんが(メンバーの転倒や、足の痙攣で動けないことはありました)、いつか…対応しなければならぬ時のため、今回受講させていただきました。

「遭難、事故を起こしたら」

①まず深呼吸をして落ち着く。この事が文字にされ一番に来ていたことが驚きです。でも、私には特に必要なことだと思えました。

②パーティの安全確保。③周囲の安全確認。④事故者の応急処置。⑤救助要請か自力搬出か。頭の中が整理できました。そして、ストックやザックを使った搬出方法を見せて頂き、体験をし、形はいろいろ理解できました。実際に使える様もう少し練習しようと思っています。

岩尾根搬出講習会を受講して

◆川口 辛二(滋賀山友会)

今回の講習は、岩・岩セルフレスキュー・尾根の3コースが有りました。

私は、尾根コースを受講しました。(岩コースは主に岩登りをしている方が対象、他のコースは岩登りの経験があり、搬出技術の向上を目指すものとなっています)

この講習の目的は、ロープを使用した背負い搬出方法、背負い者の補助方法また負傷者役の体験を行い、その方法を覚え今後の登山に役立てることです。

最初に、全員で負傷者の応急手当(手足の怪我)の仕方を行い、その後遭難時に使用できる発炎筒デモを見学しました。この発炎筒は、煙が赤色で1~2分煙が出るという物です。中々良さそうなので、一つザックに入れておいても良いかも知れません。



次に各コースに分かれて講習スタートです。今回は組織レスキューなので1班計12名で行いました。実際登山する場合ここまで大人数で行く事は少ないでしょうが4~5名でも対応出来ると思います。

内容的には、負傷者を背負っての登り搬出及び懸垂下降による搬出とそのサポートで、背負い方法はザックを利用した物となります。やってみての感想ですが、一言!まー大変。



負傷者を足場が悪い斜面で背負うだけでも大変で、サポートが無ければ持ち上げる事も、歩く事もままならないかも知れません。下りの場合は、懸垂下降で負傷者を降ろすのですが、単独での下降とは大違いで、人を背負った場合こんなに大変なんだと思いました。

下降器にセットしたザイルの流れを制御するだけでも大変なのに、足元と後方を確認しながらというのは…。

今後の課題としては、10習った事の1~3割位しか発揮できないでしょうから、繰り返し繰り返し練習をし体に覚えさせる事だと思えます。実際、緊急事態は無いほうがいいのですが、今回受講して習得した応急手当・搬出技術を、いざと言う時に発揮できるように備えればと思いました。

桜咲く春でしたが実りあるものとなりました。

雪山基礎講座 2 (第 4 回) 報告

中央アルプス・上松 A コース～木曾駒ヶ岳

日 時 2018 年 3 月 23 日～25 日 (日)

天 気 24 日 快晴、25 日 快晴、午前中北西の風強し

講 師 秋田 (彷徨倶楽部)

受講生 (湖南岳友会) 森原、山中、大門、川端、小西、山川、高岡
(彷徨倶楽部) 乾 (比良雪稜会) 川嶋、其阿弥、田中 (報告)

行 程 3/23 JR 守山駅 (20:30) = 栗東 IC = (名神高速、中央道) = 中津川 IC
= R19 = 飯田線野尻駅 (24:00、泊)

3/24 野尻駅 (7:00) = 滑川砂防公園 (7:45) — 敬神ノ滝小屋 (8:50～9:00)
— 金懸小屋 (11:30、泊)

3/25 金懸小屋 (2:50) — 木曾前岳手前 (10:00) — 金懸小屋 (16:15～18:00)
— 敬神ノ滝小屋 (21:10～21:30) — 滑川砂防公園 (22:30～22:50) = 帰滋

今回の講習課題はアイゼン&ピッケルワーク。

数日前から気温低く雨が続けていたが、週末から回復し快晴予報。

3/23、JR 守山駅を出発し名神・中央道を経由して飯田線野尻駅にて、翌日の打ち合わせ後仮眠。駅舎の中なので居心地がよい。防犯の為か一晩中電気がついていて隣には、綺麗なトイレもある。

3/24、野尻駅にて各自朝食後、出発。滑川砂防公園で車をデポする。林道を進み敬神ノ滝小屋へ。小沢を渡りしばらく樹林の中の踏み跡を九十九折れに進むと、本日の宿泊地である金懸小屋まで約 1.000m の急登が始まる。11 時半頃に小屋に到着。昼食後 1 名を残し、明日の下見に 6 合目まで登る。積雪が少ない事等を確認し 14 時半小屋に戻る。ロフト式の小屋で窓から御嶽山が望める。長机・布団類が置いてあり、外には簡易トイレ 2 棟、携帯も繋がる。今宵の泊りは私達のパーティーのみ。使い放題、快適である。明日の行動を考慮し 15 時より夕食、しばし歓談後 18 時過ぎに就寝。

3/25、3 時頃小屋を出発。夜空が美しい。朝日が昇り乗鞍岳・御嶽山が次第に赤く染まり絶景。徐々に雪も深くなり、全員で先頭を交代し急登をラッセルする。樹林帯を過ぎ 1 名、体調不良で遅れ気味となる。稜線に出ると、三ノ沢岳が大きくきく聳え立ち圧巻。ナイフリッジにさしかかると北西の強風が雪煙を巻きあげて吹きつける。度々



滑川本谷の向こうに三ノ沢岳

姿勢を低くし風が弱まるのを待って前に進む。木曾前岳の最後の登りで、10 時タイムア

ップとの指示が発せられた。遙か頭上で木曾駒ヶ岳が雪煙をあげて私達を誘っているが帰路を思うと登頂は難しかった。10時木曾前岳の頂稜に達して引き返す。標高2,800mほどか。風のおさまった雪稜を周りの山々を眺めながら下った。急な下りでは訓練も兼ねバックステップで下る。13時半頃、2,400m付近の下りトラバースで1名が足場を崩して滑落。



ナイフリッジ（前方、木曾前岳）

いた1名が岩の隙間に足をとられて転倒。足首の痛みはあるも自力歩行して16時過ぎに小屋着。16時半には後続の2名も到着して全員小屋に揃った。

17時半、先発の10名が下山開始。体調不良者と付き添いのリーダーは18時に小屋を発つ。敬神ノ滝小屋手前で全員合流し、車デポ地に22時半頃到着。

【ひと口感想】

■ 最高の天気恵まれた中で眺めた御嶽山や乗鞍岳が大変印象的でした。一方、木曾前岳直下の三ヵ所のナイフリッジは雪が緩んでいたアイゼンをしっかり踏込みこみ、また時々強く吹く風で煽られないよう低姿勢で留まりながら渡りました。大変緊張しました。（大門）

■ 1日目を終えた翌日、金懸小屋から星空の下を登って行きます。アイゼンがよく効きましたし、暗いため斜度を感じず意外に歩き易いと思いました。稜線に出ると抜けるような青空です。北アルプスも一望でき、谷は挟んで三ノ沢岳が聳え、ピークに続く稜線に心惹かれますが、冬季はとても怖くて歩けそうにないと納得させられました。ピッケルの使用方法として、台風姿勢、滑落停止、スタンディング・アックスビレーと習いましたが、使い慣れないと直ちに対応できないと思います。いつも意識して使用するよう心掛けましたが、行動中の大半はストックの役割でした。急斜面の登りや下りのときは、ピッケルを深く刺すことで安定しました。ナイフリッジのような切迫した場面では、ピッケルは外せないものと実感しました。ピークを目指し懸命に歩きましたが、木曾前岳山頂を僅かにして時間切れとなり残念でした。しかし、時間があっても木曾駒頂上までは体力的にも無理だったと思います。雪が深くなるとラッセルに疲労する。そういった状況を踏まえ

て、力をキープ出来ないと言ったと痛感しました。(川端)

■ 晴天の中、今回の訓練を受けることが出来ました。内容はアイゼン&ピッケルワークそしてピークハント。ピークハントのみ時間切れでしたが、強風下でのラッセル・耐風姿勢・急斜面でのバックステップと十分に学ぶことが出来ました。これからの雪山山行に活かしていきたいと思います。もう少し体力をつけることが課題だと思いました。(小西)

■ 今回の講習は、アイゼン&ピッケルワーク訓練。厳しい所が、所々ありましたが、最高の訓練、山行となりました。強風、白い雪山、真っ青な空、全てに感動！しかし、課題も残り次の山行に活かしたい。(山中)

■ 良かったこととして、写真でしか見たことがないナイフリッジをドキドキ、ワクワクしながら歩けたこと。強風で雪煙が舞う中ラッセルしながら荒島岳で訓練した方法で歩けたこと。快晴の中、宝剣岳、三沢岳、麦草岳、遠くは御嶽山、乗鞍岳、北アルプスなどの山々を望めたこと。

改善点としてはハムストリングの強化。急登をラッセルする際、ハムストリングが攣りそうになり芍薬甘草湯服用で治まった。また、ナイフリッジ通過中に横からの強風でよろけてしまった。もっと足幅をとるか、強風が弱まるのを待つことが必要。今回、急坂を下るとき途中で危険を感じ前向きからバックステップへ切り替えた。急坂の下り方の判断基準と知識を身につけ、安全に下るスキルを習得することが必要。(森原)

■ 踏み跡のないナイフリッジに自分達で一歩一歩足跡をつける。振り返ると青い空の下、真っ白な尾根に一筋の道が刻まれていた。素晴らしい風景、体験が出来ました。しかし、雪稜のラッセルで不用意に足を踏み出した途端に風に吹き煽られてしまいました。風の脅威を感じた山行にもなりました。(其阿弥)

■ 今回の講習では体調不良を含めて3件の事故が発生しました。長く山を登っていますが1回の山行で事故者を3名も出したのは初めてです。原因分析と今後の対応については、機会を改めて早急に取りかかりたいと考えています。いずれにせよ、講習会で事故を起こしてはどんな言い訳も無意味です。受講生のみなさんと心配をおかけした関係各位に深くお詫びを申し上げます。また、帰宅時間が大幅に遅くなり、車を出して頂いた方には大変な負担をおかけしたことについてもお詫びします。往々にして山の事故は難しいところではなく、容易な箇所でも集中力が途切れたときに起こります。いかにしてパーティーの集中力を維持するか、リーダーの力量が問われた山行でした。(秋田)



上部雪稜で（後方に乗鞍岳）

山である日

--- 春の双耳峰 ---

保久美照

3日間というもの高千穂平を訪れる者は誰ひとりとしてなく、僕たちは静かな天上の楽園で春山の贅沢を満喫することができた。テントからは北俣本谷を隔てて、東尾根が鹿島槍の北のピークへ一直線に突き上げているのをじっくり眺めることができたし、ゆっくり頂上を往復してもまだ宙天高い春の陽を、うらうら浴びながらテントのわきに友と並んで腰を下ろし、爽やかな風のキスを頬に感じつつ、岩ヒバリのさえずりを肴に飲むビールの味は格別だった。今年の鹿島槍は残雪がとても少なく、赤岩尾根の上部と冷小屋付近で申し訳程度に雪の上を歩いた他は、すっかり登山道が剥き出しになって夏山の風情だった。

冷尾根を登攀して鹿島槍に立つという当初のプランは、限られた日程で残雪の山を楽しむにはベストのものだと自負していた。けれども、大谷原から冷尾根を見上げたとき、僕はすっかり戦意を喪失してしまった。なぜって？ ごうごうと雪解けの水が恐ろしい勢いで溢れんばかりの小冷沢と稜線直下まで全く雪のついていないヤブ尾根を目の当たりにしたら、それはとても自然なことだと思う。結局、最も安易な赤岩尾根を登路に選んだのだけれど、これほどまでに素敵な山行になるとは予想もしなかった。過去3度の頂上は、雲に急かされ風に煽られながら慌ただしく駆け抜けるだけのものだったけれど、今回は周囲の眺望をゆったりと楽しみ、身体が大自然と同化し精神が高く澄み渡った空に昇華していくような幸せを感じることができたのだから。

夏が来る前に、五龍岳からキレットを越えてもう一度あの頂に立ってみようかと思った。



北俣本谷と鹿島槍ヶ岳

報告 「県連ホームページへの問い合わせ」の件

問い合わせ内容 2018.3.30

『メッセージ: 前略 小生徳島県労山会員の徳島ハイキングクラブに所属しているものです。29 日日帰りでスキー場休場中の打見山と蓬莱山に行ってきました。蓬莱山からの下山路、金毘羅峠から志賀駅へのみちを選択しましたがロープウェイ山麓駅手前、ダムの数百メートル上部の登山道が植林杉の大倒木によって消失、崩壊しております。もうご存知だとは思いますが小生も初めてのルートなので解らない部分があります。が知らない人間が下山時金毘羅峠をかなり下ってきた時点で引き返すのは大変です。又すぐ下の渡渉地点まで通過するのも危険な状態です。通行止めにするをお勧めします。御労山のご発展を祈念いたします。尚滋賀の登山道の整備状況が解る方法が（ネットなど）あれば教えていただければありがたいです。これから滋賀の山を多々歩こうと思っているものですから。早々。』

返信

ネット情報としては、「比良山系登山情報」で検索すると比良山遭難防止対策協議会が情報提供しています。倒木多しとして「金比羅峠現状写真」が確認できました。私自身で、4月3日に確認に行っていました。



蓬莱山～金比羅峠の分岐で山麓駅への下山は、おっしゃるとおり倒木で登山道消失・崩壊していました。何とか山麓駅まで下山しましたが、登りの入り口にも何の警告看板もありませんでした。

昭文社の地図は、実線ですので、登山コースと思われて当然です。

比良山遭難防止対策協議会に詳しい情報提供をして何らかの対策をしていただくように働きかけます。

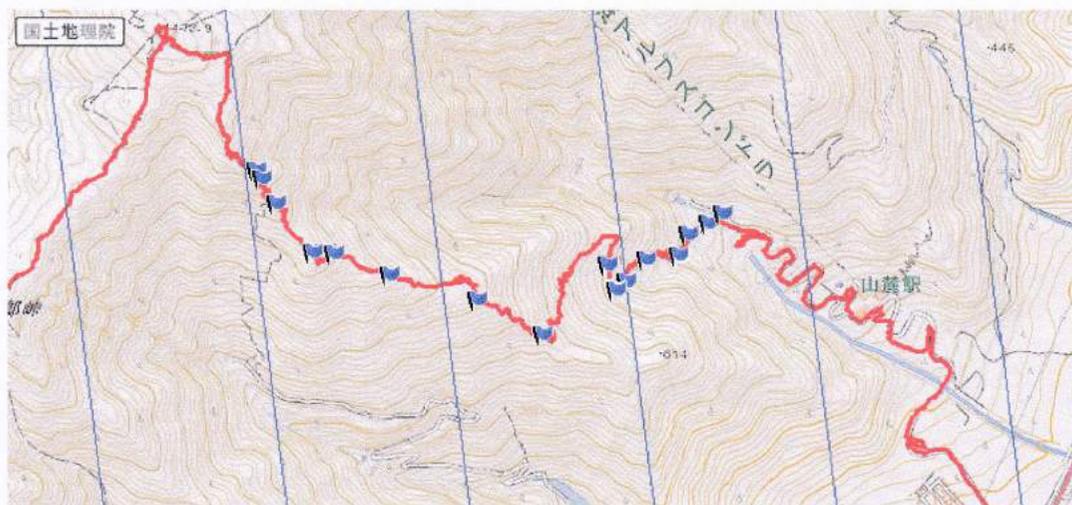
滋賀県労山も、「地元の労山」として会員からの情報提供を集約して、お役に立てるHPを心がけたいと思います。ありがとうございました。

危険 「比良・蓬莱山～金比羅峠～山麓駅～登山口」登山道調査報告

2018.4.3 山友会会員2名で登山道確認に行ってきました。

「比良山遭難防止対策協議会」のHPに昨年の台風21号の影響により、倒木多し登山する方は注意とあり金比羅峠現状写真2枚が提供されていました。

蓬莱山～金比羅峠分岐で山麓駅の方向に登山道を歩く、金比羅峠の分岐には、木に赤矢印が太くはっきり見える。テープもある。倒木があるが通過できないことはなかった。がp614の尾根に続くp660のところに黄色テープがあり通行止めのところを直角に曲がりトラバースでp550の地点から登山道消失・崩壊状態のような倒木の連続、p420までの渡渉地点まで続いた。下山地点は登山道入り口よりも上部であった。そこには、「山麓駅から金比羅峠経由蓬莱山」という標識もあった、登山道入り口にも看板があった、最初はしっかりした踏跡があり、途中から崩壊地点に遭遇すると思われる。 (報告・宮内)



ブルーのポイント密集地が倒木の連続で危険な箇所

今後、県連HPに「滋賀の登山道情報」コーナーを設け、地元労山として情報発信できたらと思います。

■各会会員の皆様 情報提供のご協力よろしくお願いします！！

『 新任理事の横顔 』

★ 財政部を担当させていただくことになりました。

湖南岳友会所属の三崎せつ子です。

私は湖南岳友会に入会して6年になります。登山は日常生活の一部として、今後も楽しみながら少しでも長く続けていきたいと思っています。

目標としては、例会や個人山行に参加させてもらいながら、憧れの百名山にも行きたいと思っています。

登山以外の趣味は、エアロビクスと1年前から始めた幼児の腕前にも劣るピアノです。

自営業をやめてから、山登りの世界に入りましたので、経験も少なく知識もありませんし、県連のお役にたてると思えませんが、ご指導いただき勉強していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

★ 教育部を担当させていただくことになりました。

氏名：番浦文子（ばんうらふみこ） 彷徨倶楽部所属

ハンドルネーム：banchan97,

北海道山メーリングリスト（HYML）会員

出身：北海道小樽市 登山経験：1973～ 長いだけ

山以外の趣味：保存食作り（納豆、豆腐、米麴、ジャム、お茶、干物、漬物、味噌、燻製、ジュースetc）

音楽鑑賞 JAZZ, クラシック（ラベル、ブラームス）、絵画

登山スタイル：年間を通じてのへっぴりオールラウンダーです。こよなくスキーを楽しんでいます。高校山岳部時代の仲間が定年になり山スキーを誘ってくれました。楽しいツアーになりました。最近、周りで遭難（死亡事故2件）ありました。基本に帰りリスク管理徹底したいです。

目標：今年はヒマラヤ ゴーキョピークに行きたいです。

『 新任理事の横顔 』

★ 自然保護部を担当させていただくことになりました。
比良雪稜会の古川哲郎です。

一私と登山一

小学5、6年の時、先生がユニークな方で、休日、北鎌倉の裏山や高尾山に連れて行ってもらった。これが登山を始めるきっかけになったように思う。

その後バスケットボールを始め、40 過ぎまで続けていた関係で、山へは夏季連休に行く程度だったが、60歳過ぎに金沢に単身赴任して、休日は白山系の諸山を一人でぶらぶらと歩くようになった。しかし、肉離れをしたり、道迷いをしたり、体力もなくなって来たので、単独登山は危ないかと内思い始めていた。70 過ぎてリタイヤし、湖西に移り住むことになり、偶然喫茶“るーむぶな”に入ったが、そこで比良雪稜会を知り、始めて登山と言える活動を始めた。

雪稜会に入り、2つ山の面白さを知った。一つは読図講習を受け、地図読み登山の楽しさを知った。今年時間は許せば、県連の読図教室に参加したいと考えている。もう一つは5年前新春登山で初めて武奈ヶ岳に登り、雪景色の素晴らしさを知ったことで、近くの冬山例会に参加することを楽しみにしている。

県連理事に就任し、登山も滋賀の土地にも詳しくない私だが、担当することになった自然保護活動をバックアップし、滋賀労山の繁栄の一助になればと考えています。

★ 教育部を担当させていただくことになりました。
彷徨倶楽部所属の濱 良和です。

プロフィール

- 出身地（生育地） ずっと滋賀県大津市
- 登山スタイル 夏山一般道テント泊単独行多し
- 目標 当面は夏山北アルプス一般ルート踏破
- 登山以外の趣味 最近、超パウダー狙いの山スキーにはまっています
- ひとこと

所属会のネーミングを頂戴しては失礼ですが、彷徨気味、勝手気ままな山歩きが好きです。最低ラインの計画性しかなく、誇れるような登山歴などももちろんありません。

肩肘張らずに努めたいと考えていますので、よろしく願います。

ぐうたら理事長のつぶやき

清掃登山が始まります。自治体交渉や企業へのお願いなど、皆様にご協力いただく事がたくさんありますがよろしくご協力お願いします。

先日滋賀山友会の総会の後に行われた懇親会で、新入会員の方から清掃登山の意義について質問を受けました。清掃登山の始まりから今までの活動状況、山のゴミを拾うことがなぜ自然保護、環境保全につながるのか？

舌足らずでしたが説明をしました。納得していただけたかどうかはわかりませんが、50年近く続けている活動は貴重なものですが、マンネリ化している事も事実です。皆さんも改めて清掃登山を今後も続け、さらに活発にしていける方法などいろんな視点から考えていただければと思います。

4月14日に地図にある東海自然歩道の文字の右にある尾根を登りました。藤三郎草木染組紐研究所の奥にある駐車場から取付きました。旧東海自然歩道の標識も建っていました。登山道はないので堰堤の先から適当に取付いて少し登ると立派な道が横切っていました。尾根の突端まで辿って尾根を登り始めました。左に浅い谷を挟んで延びる尾根と合流する所は緩くて細い尾根となっていました。再び急登が始まり370mの小さなピークを越えるとまたまた急な登りとなった。所々に咲くツツジに目を休めながら登り続け、420m 辺りで緩くて細い尾根となった。もう一登りで自然歩道と合流すると頑張る。一つの根から7つか8つの幹が延びている珍しい木に出会った。この木と出会えただけで今日の山行は満足できるものだと思った。600mに満たない音羽山でも思いもしないものと出会える。登山道から離れて山を歩くと、時に思わぬものと出会う楽しみがある。山はそんな嬉しいハプニングに満ちています。

5月は上記の木を皆さんに見てもらいたいと思います。

5月19日(土)8時30分京阪大谷駅集合

コースは大谷～旧自然歩道右の尾根～中継所～音羽山～膳所支線巡視路～関寺林道～大谷一部は登山道のない難路です。

ぜひ一つの根から7つか8つの幹が延びている珍しい木に会って下さい。

参加していただける方は4月18日までに友永まで連絡してください。

電話番号 077-524-5618 メール yt19481013@yahoo.co.jp です。

行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
5	3-6	北ア・爺ヶ岳東尾根～鹿島槍ヶ岳 (雪山基礎講座 2/CSS)	5	3-5	両白・経ヶ岳～赤兎山	山友
				3～6	熊野古道歩き	岳友
				12	金剛山(ダイトレ)	彷徨
				13	京都トレイル・奥比叡	ちご
				13	公開ハイク、湖南アルプス堂山	山友
				13	金毘羅山	雪稜
	17	第3回理事会		19	ミーティング	彷徨
	19	金毘羅山岩トレ(CSS)		19-20	蛇谷～権現(女子テント泊縦走)	雪稜
		20	高島トレイル	岳友		
		26	ミーティング	岳友		
		26-27	瑞牆山～金峰山	雪稜		
		27	比叡山・回峰行コース	ちご		
	27	第46回清掃登山(1)	27	清掃登山、鈴鹿・竜ヶ岳	山友	
6	2	第46回清掃登山(2)	6	3	清掃登山、伊吹山	山友
	3	第46回清掃登山(3)		3	清掃登山、金勝アルプス	山友
				3	清掃登山、(高室山)	岳友
				3	清掃登山、(南比良2コース)	雪稜
				3	清掃登山、(雪野山)	彷徨
				3	清掃登山、(イン谷～隠れ滝)	ちご
	14	第4回理事会		8-12	韓国の山(太白山 道峰山 水落山)	彷徨
				10	初級登山教室、音羽山	山友
				16	金毘羅山	雪稜
				16～17	綾部(上林)蛭鑑賞&山	ちご
		17	射能山(ブンゲン)	雪稜		
23	しし岩岩トレ(CSS)	21	ミーティング	彷徨		
23～24	全国女性担当者会議	24	錫杖岳(三重県)	雪稜		
		30	ミーティング	岳友		
30～1	全国遭難対策担当者会議					
7			7	1	初級登山教室(場所未定)	山友
				7～8	夏山合宿・美ヶ原	ちご
				8	七尾山～横山	雪稜
	12	第5回理事会			ミーティング	彷徨
	14-15	八ヶ岳阿弥陀南稜(CSS)		20～22	劔岳	雪稜
				22	田上 笹間ヶ岳	ちご
				28	夏山集中山行、立山・雷鳥沢	山友
				27～31	白峰三山	雪稜
		28	ミーティング	岳友		

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会

シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部

スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀



原稿の投稿先（6月号は2018年5月15日〆切）
メールアドレス okunoyutaka@yahoo.co.jp まで
原稿はB5サイズ、フォント10.5~12で、使用する写真は
200KB以内として下さい。皆様のご協力をお願い致します。

「県連ニュース」5月号 №490

発行日：2018年4月20日

滋賀県勤労者山岳連盟
〒520-0836
大津市杉浦町9-30

Tel: 080-4971-6231
Eメール shigarosan@gmail.com

<http://shigarosan.jimdo.com/>

ゆうちょ銀行（店名418）
普通0239956

発行責任者 友永芳和

編集委員 奥野 豊

高玉 敬子 東郷 京子